

被爆80年——「あの日」を“絵と文字”で語り継ぐ新たな挑戦 伝説のドキュメンタリー『いしぶみ』、初のコミック化！

2025年7月16日（水）、広島テレビ放送（本社：広島市東区、代表取締役社長：今村司）は、被爆80年の節目に、当社制作の書籍『いしぶみ 広島二中一年生全滅の記録』（ポプラ社刊）を、戦争を知らない世代に向け“コミック”として刊行いたします。タイトルは——

『いしぶみ ～原爆が落ちてくるとき、ぼくらは空をみていた』

本作は、「あの日を二度と繰り返してはならない」という強い思いを未来へとつなぐため、広島テレビが被爆80年のキャンペーンとして展開する『NEVER AGAIN』の一環です。

原作は1969年、女優・杉村春子の朗読で放送され全国に衝撃を与えたドキュメンタリー番組「碑（いしぶみ）」。原爆で命を落とした広島二中（現・観音高校）1年生323人の遺族の証言や手紙を通じて、少年たちの“最後の日”を静かに描きました。書籍は、以来55年にわたり読み継がれ、教科書にも掲載されてきました。

被爆70年の2015年には是枝裕和監督・綾瀬はるか主演により映像として再構成、池上彰氏の解説を加えたリメイク（全国放送と映画化）が話題となりました。今回はさらに一歩進み、「絵と文字」で語るという新たな手法＝コミックでの伝承に挑戦しました。

作画は、感情の機微や季節の移ろいを繊細に描く気鋭の漫画家・サメマチオ。時代考証を重ね、戦中の服装や路面電車の座席配置まで検証・修正を繰り返し、今を生きる子どもたちが“自分ごと”として読める作品に仕上げました。

今作は初版5,000部を発行。広島市立のすべての小・中・高校に2冊ずつ（計424冊）を寄贈します。

■書籍概要

- ・タイトル：『いしぶみ ～原爆が落ちてくるとき、ぼくらは空をみていた』
- ・原作：広島テレビ放送編『いしぶみ』
- ・漫画：サメマチオ（ネクストF大賞受賞）
- ・解説：池上 彰
- ・帯コメント：斉藤 孝（明治大学教授）
是枝裕和（映画監督）
- ・体裁：A5判・並製・224ページ／定価：1,500円（税別）
- ・発売日：2025年7月16日（水）～ 全国書店で販売

■平和イベント連動企画「広テレ平和WEEK」

- ・期間：2025年8月1日（金）～6日（水）
- ・会場：広島テレビ本社
- ・8月4日（月）16:00～ 映画『いしぶみ』上映＋
池上彰トークイベント
- ・『いしぶみ』パネル展示＆書籍販売コーナー設置

■お問合せ

- ・広島テレビ東京支社 佐藤 TEL 03-3572-3581 ✉ hiroshi-s@htv.jp

